

## 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度	平成 23 年度
--------	----------

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	田沢湖活性化センター運営管理費							
担当課係名	田沢出張所	課	所長補佐	係	作成者	浅利 昌子		
総合計画での位置づけ	施策の大綱	共に参加し行動する市民協同のまち				総合計画のページ  104		
	基本計画	地域づくり活動の推進						
	主要施策	地域づくり活動の推進への支援						
予算費目	一般	会計	2款	総務費	1項	総務管理費	5目	財産管理費
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 年度			新規/継続の区分		継続		
性質区分	<input type="checkbox"/> 市民サービス		<input type="checkbox"/> 公共事業		<input checked="" type="checkbox"/> 施設維持管理		<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 内部管理
根拠法令等	仙北市田沢湖活性化センター条例							
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務					
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営		<input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託）		<input type="checkbox"/> 民間委託（全部）		<input type="checkbox"/> 補助	

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	仙北市民及び田沢地域運営体会員。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	広く市民に使用させたいので、活性化条例を一部改正する。（使用料を定める。）
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理業務を実施し、使用者を募る。

【事務事業の推移】

項 目		単位	23年度実績			
効果	活動指標	開館総時間数 (平成23年度閉館)	目標	h	0	
		実績	h	0		
		達成度	%	-		
	成果指標	利用者数 (平成23年度閉館)	目標	人	0	
			実績	人	0	
			達成度	%	-	
投下コスト	項 目	総事業費	23年度決算額(千円)			
	事業費（人件費を除く）(A)		927,000	927		
	人 件 費 (B)		—	594		
	職 員 数		—	0.07		
	職員平均人件費		—	8,479		
	(A) + (B) 投下コスト		—	1,521		
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0	
		県 支 出 金			0	
		地 方 債			0	
		そ の 他			0	
		一 般 財 源		927,000	1,521	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	—		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	51		

【事務事業の今までの成果】

平成23年度までは、ハード、ソフト両面の整備がなされなかったため、最低限の保守にとどめた。利用者数はなし。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	未利用（低利用）財産の取組みや取扱いは、すでに実行されている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	田沢地域運営体からの要望により、平成24年度においては、使用を認めている。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
C 1	A 現状のまま継続（実施）	公の施設、災害時の避難場所としての必要性は十分ある。行政財産である以上、改良なくして維持することはできないので、その意味をもってC判定とした。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

仙北市田沢湖活性化センター条例の一部を改正し、建物修繕を施し、地域運営体や市民の活動の場として活用させたい。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
C 1	地域住民との協働による利活用方法を検討し、施設の利活用方針を明確化する必要があると考えられます。

